

法人（事業所）理念		私たちは目の前の人を幸せにするために考え、向き合い、行動し、皆様に寄り添っていきます。			
支援方針		集団が苦手なお子様は小集団で慣れ、小集団が苦手な児童は個別で指導員との信頼関係を築きます。最終目的として集団生活の中の自分を知り、社会生活で自己発揮が出来るように支援を行う。			
営業時間	平日	11 時	00 分から	20 時	00 分まで
	土曜日	8 時	30 分から	17 時	30 分まで
	祝日/長期休暇日 月・水・金曜日	11 時	00 分から	20 時	00 分まで
	祝日/長期休暇日 火・木曜日	8 時	30 分から	19 時	00 分まで
		送迎実施の有無		あり	なし *個別支援の際は送迎なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<p>【食育/調理】調理作業により、手順にそって取り組むことや自分の仕事に責任をもつこと、役割分担すること、報告・連絡・相談などのスキルを身に付けていく。</p> <p>【衛生管理】健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。来所時の手洗い・うがいの実施。睡眠、食事、排泄などの基本的な生活のリズムが身に付けていく。</p> <p>【持ち物管理】管理の仕方を一緒に考えサポートします。忘れてしまったときの対処法(早めに報告する、代替手段を考えるなど)を身に付けていく。</p> <p>【スケジュール管理】取り組むべき物事を提示された時間内で仕上げるために、どれだけの時間にどの量を取り組めるか理解することで、生活のスケジュール作成や作業の優先順位を考えるトレーニングを行う。</p> <p>【身だしなみ】「清潔感のある服装」「季節に合う服装」について視覚支援を行う。支度が前向きになるようにアドバイスをし習慣化していく。</p>			
	運動・感覚	<p>【基礎体力】ラジオ体操・ダンス・ヨガで体幹強化を行い、バランス感覚を養い姿勢保持をしやすい体づくりを目指し、物事に集中する力を高める。</p> <p>【粗大運動】走る、打つ、投げる、跳ぶなどの全身運動を体力強化を目的に行う。主に集団活動で、ソフトテニスを通じて支援を行う。</p> <p>【微細運動】お箸、鉛筆などの道具を上手に持てるように積み木遊びや工作を通して指先の機能を高めます。手先の器用さを高めることによって脳への刺激を促す。</p> <p>【空間把握】アスレチック、鬼ごっこ、折り紙、パズルなどで立体的な遊びを通して、道具をよりうまく使える力、物の組み立てなどの構造を理解する、正確に把握する能力を身につけていく。</p> <p>【感触遊び】スクイズ、寒天、スライム、粘土、片栗粉など様々な素材を楽しみ、指先・足先の感触やにおいなどを感じて五感を育む。</p>			
	認知・行動	<p>【自己認知】身体的なこと、外見のことから興味・関心・特性までの自分のことについてデータ作りを行い、自己理解を促します。</p> <p>【社会的行動】集団行動において、好ましい行動の理解としてSSTを行う。活動の中でテーマにそってロールプレイやワークシートを使用しスキルを身に付けていく。また、他者の意見を聞く機会といった、多様な視点を身に付けられる場を設ける。他者の行動から自身の行動について学べるように支援する。</p> <p>【感情のコントロール】脳機能トレーニングとして、ゲームや遊びを通して脳の発達統合を促し、感情のコントロールにアプローチする。</p> <p>【問題解決】トラブルの種や、どの程度のトラブルかなど、解決に向けて自分が置かれている状況を把握する力を高める。ワークシートやロールプレイを行い、実際に似たような場面で応用できるように支援する。</p>			
	言語コミュニケーション	<p>【語彙】言葉の意味を正しく理解するために、調べ方や、ほかの表現の仕方を学びます。指導員や他児との関りの中で適切な表現方法ができるように実践する場をプログラムの中に組み込み行う。</p> <p>【聞く/話す】遊びを通して相手の話を聞く態度と姿勢を学ぶ機会を設け、人の話を聞く大切さを身に付ける(例：リスニングゲーム、ステレオクイズなど)</p> <p>児童が得意な分野、好きなことなど様々なテーマについて発表する機会を作り、効果的なプレゼンテーションについての学習やロールプレイを行うことで話し方の基本を身に付ける。</p> <p>【共感/傾聴】相手の気持ちに寄り添う「聴き方」として他者の意見を否定せず、肯定的に受け止めるスキル「傾聴力」を身に付け、相手との関係を深め、自信が持てる、相手から信頼される力を養う。</p> <p>【暗黙のルール】ゲームとして暗黙のルールカードを取り入れ遊びをととして取り組むことで、「状況の判断」「結果の予測」をする力をつけていく。また、ワークシートを使用し学習を行う。</p>			
	人間関係社会性	<p>【個別療育】マンツーマンで学習・就労準備・子供の強み・興味関心のあることを伸ばしていく。将来のための資格取得を目指すなど、個人に合ったプログラムと一緒に考える。</p> <p>【小集団】4～6人のグループで活動を行う。年齢や発達特性にあった活動プログラムを用意する。</p> <p>【人間関係の形成】人との関係を意識し、指導員との親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、他児との関りにつなげていく。</p> <p>【社会性】一人遊びの状態から並行遊びを行い、指導員が介入して行う連動的な遊びに取り組み、役割分担したり、ルールを守って遊ぶ活動を通して社会性の発達を育む。公共施設の利用、職場体験や地域行事の参加、子ども食堂の開催によって外部との関り学ぶ。</p> <p>【自己理解】指導員を介在して、できること・できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、情動の調整が出来るように支援する。</p> <p>【協調性】集団に参加するための手順やルールを他児との関りを遊びや集団活動で経験することを通して理解し身に付ける。</p>			
家族支援	日常生活、学校生活の様子を聞き取り、必要な助言を行う。家庭で実施することが出来る具体的な方法を提案・助言する。	移行支援	関係機関と事業所での利用状況や対応方法について共有を図り連携を行う。		
地域支援・地域連携	日常生活や支援に活用するために、各関係機関と連携を図る。各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面での子供との関りの提案や、関りのポイントについての助言を行う。	職員の質の向上	事業所内での定期的な支援会議・防災訓練及び研修の実施と参加 外部研修への参加(福山市主催、相談支援事業所主催など)		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師によるイベント実施(ソフトテニス、絵画、ヨガなど) ・災害訓練(津波・地震・火災)(2回/年) ・職場体験・他事業所との合同活動 				